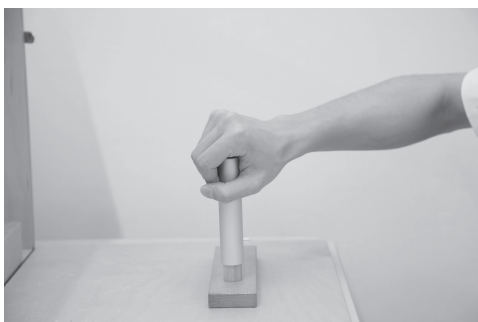
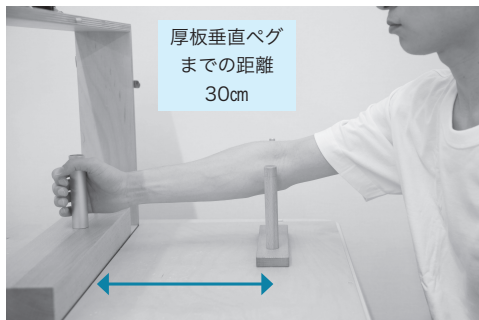
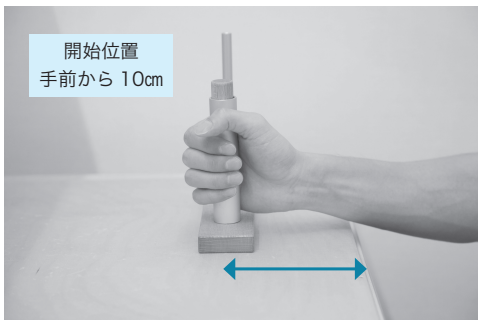


円筒
2.25cm
(開始)



円筒
2.25cm
(終了)



**誤った動作方法
(incorrect performance)**
上方から持ったり、上から押し込むようにして把持させてはいけない

図5 円筒課題の実施方法

Q 円筒課題において、円筒を上から握る動作は許可されるのか？

前腕中間位で円筒を握り、移動できるかを見る。上からつまむように持ち上げて移動させた場合や、手指の伸展を伴わずに上から押し込むように握った場合は0点となる。

Q 円筒課題において、前方にリーチをする際に患者近くに設置した垂直ペグが課題遂行の邪魔になる場合は設定位置をずらしてよいのか？

非麻痺側上肢で行う場合は、患者近くに設置したペグ立ての2本の垂直ペグに触れることなくリーチすることが可能であるため、基本的には設置位置は変えずに行う。垂直ペグに触れてしまう、または払いのけるように実施する際は、動作の拙劣（困難を伴う）と判断し、減点の対象とする。

ワッシャー
(開始)

前腕回内位
で把持



ワッシャー
(終了)

前腕回外位
にしてペグ
に通す



ーポイントー
ワッシャーを把持したまま
下まで通す (落とさない)



誤った動作方法
(incorrect performance)

ワッシャーをペグに通す際に前腕回外を伴って
いなければ減点となる

図6 ワッシャー課題の実施方法

Q ワッシャー課題において、垂直ペグに通したワッシャーを置く際は、落としてもよいのか？

Grip サブテストでは、器具を置いて離れた時点で完了となる（拾う→移動→置く→離す、の4動作を評価する）。したがって、最後までゆっくり置くことができなければ、課題をすべて完了できていないので、1点（課題は部分的に施行可能）と判断できる。

(伊東 寛史)